

IMASEN REPORT 19

株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
第83期第2四半期の業績について、ご報告させていただきます。

第83期第2四半期報告書

2019.4.1－2019.9.30

株式会社今仙電機製作所

〒484-8507 愛知県犬山市字柿畑1番地 TEL.(0568)67-1211(代表)

第83期第2四半期のポイント

- 1.北米、中国での生産減少などにより、売上高は前年同期比5.6%の減収となりました
- 2.売上の減少および受注製品の構成の変化により、営業利益は前年同期比18.4%の減益となりました
- 3.四半期純利益は経常利益の減少により、前年同期比27.3%の減益となりました

取締役会長

足立 隆



代表取締役社長執行役員

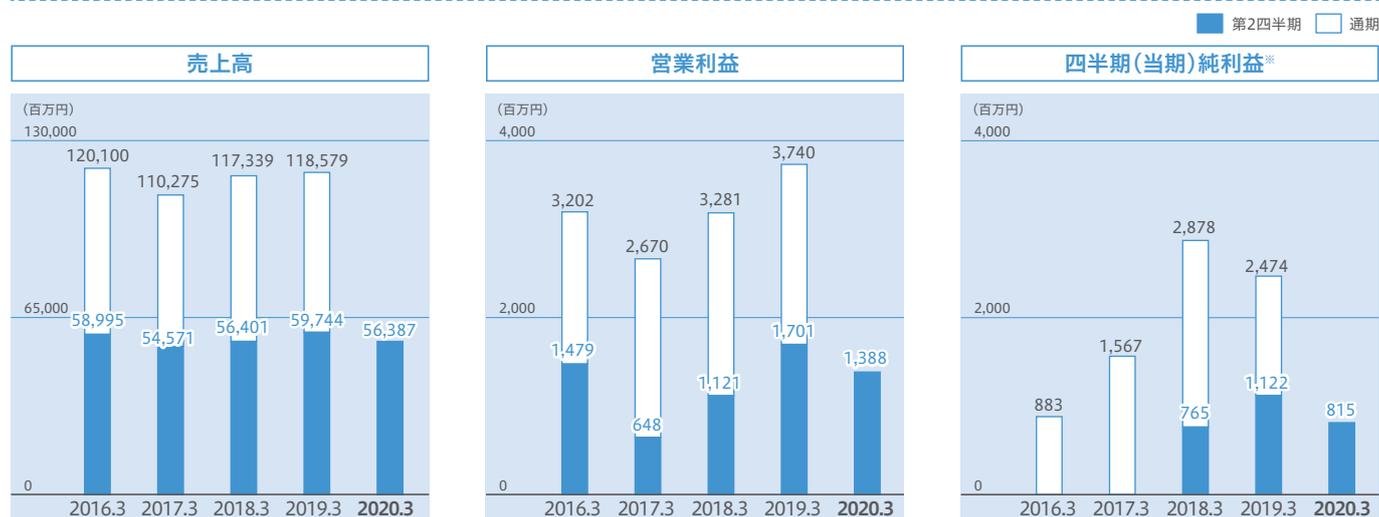
櫻井 孝光



経営理念

想像力を豊かにし、これまでに存在しない全く新しい製品・サービスを創造し、これをより安く、より速く、世の中に提供することで、人々の豊かな暮らしに貢献いたします。

財務ハイライト第83期第2四半期(2020年3月期第2四半期) 詳細な財務情報は、当社のIRウェブサイトをご覧ください。 www.imasen.co.jp



新社長 櫻井 孝充 インタビュー

1963年、愛知県生まれの56歳。愛知工業大学卒業後、株式会社今仙電機製作所に入社。設計部門配属後、1998年、35歳でIB-TECH(アメリカ)へ出向し、現地開発マネージャーを担当。2007年稼働開始したばかりのマザー工場である岐阜工場に工場長として着任するなどIMASENの設計から製造まで歴任。若々しく、フレンドリーな人柄で周りからの信頼を築いている。2017年に取締役就任後、2019年6月に代表取締役社長執行役員に就任。
趣味はゴルフ、ジム、スポーツ観戦(野球、ラグビーなど)



社長就任にあたっての抱負について

IMASEN創立80周年というタイミングに社長に就任しました。80周年は一つの通過点ではありますが、これから先、100年、200年と社会に貢献できる会社として存続していくためにも私自身も努力して、IMASENを進化させていきたいと考えています。

80年の歴史で当社の主力製品も時代とともに変化しており、自分たちが次世代をどう描くかを真剣に考える重要な責任があると考えています。この様な中で人材重視を最優先に従業員の皆さんと一丸となって取り組んでいける体質/体制を整え、お互いに信頼関係を築きつつ新しいものに挑戦していく、『信頼と挑戦~Trust&Challenge~』をキーワードに新しいIMASENを見つけていきたいと考えています。

現在の経営環境とDream2020の進捗について

現在、自動車業界は大きな転換期といわれております。その中でIMASENの主力製品であるシート製品においては安全/確実なロックを保証するラウンドリクラーをはじめとした軽量/小型のシートアジャスタの競争力向上を目指しつつ、CASE等に対応すべく車内空間において新しい役割をシートコンポーネントから考えた新たな発想に基づく提案が必要と考えています。

また、第二の柱として展開している電子事業については徐々に信頼度を高め受注の拡大ができていますので、この波をうまく捉え、更なる開発の強化とともに、営業や製造部門についても、また一つ成長した姿を構築できる様改善を図っていく必要があると考えています。

開発においては、この夏、本社テクニカルセンターをリニューアル。広島においては新規開発棟を建設、2020年中には完成させて開発要員、設備等の拡充を図ります。開発部門から良いものが生まれ、全社に良い影響を与えられるような流れを作りたいと考えています。

この様に将来を見据えた展開を図りながら、最終年度を迎えるDream2020の目標達成に向けては、生産変動、米中問題など強い逆風もありますが、計画していた事を確実にやり切る事で成果を上げ、将来に向けた体力強化を図りたいと思います。

IMASENの強みについて



IMASENはホーン、ランプ、シート、そして現在はECU製品をはじめとした電子の生産に携わっておりますが、全て創業から自動車の安全性にこだわった製品ばかりです。

重要保安部品であるシートアジャスタをはじめとして、製品として納品するためには厳しいスペック、法規があってそれにミートしたものを提供していかなければなりません。それに向けた開発と品質維持、管理に対して、一つ一つの仕事の中身が厳しい要求をクリアしていく過程で身についた強みがあるので、その点は充分意識して次にかかしていきたいと考えています。

電子については、バッテリーマネジメントシステムや電動駆動といったこれからの自動車として重要な機能を制御する位置づけのものに携わっており、それらに対してもこれまでの経験をいかしていく事で信頼されるものづくりが出来ると確信しております。

株主・投資家の皆様に対するメッセージ

現在のIMASENの株価は、市場の影響もありますが、低い水準にあると考えています。まずは100年企業に向けてしっかりとした基盤を固め、ここに働く社員一人一人が輝いてもらえるような環境を整備する事で夢のある職場の実現、安定した収益確保の継続により、世の中にIMASENの良さを伝え、企業価値を高められるよう徹底した努力を重ねて参る所存です。

全てのステークホルダーの皆様にご期待される企業を目指し、IMASENグループの総力をあげて取り組んで参りますので、末永くご支援賜ります様お願い申し上げます。

トピックス



▶ 本社テクニカルセンターをリニューアル

IMASENは、2019年8月19日に本社テクニカルセンター設計エリアをリニューアルしました。改装フロアには、主力のシート製品、電装製品の開発設計業務に携わる100名を超える従業員が勤務しております。今回のリニューアルにより、従業員満足度を高め、技術革新に向けた開発業務の向上を目指します。今後もIMASENは、お客様の期待に応える製品開発に取り組んでまいります。



▶ 第46回東京モーターショーに出展

IMASENは、「第46回東京モーターショー2019」(期間:10月24日から11月4日)に出展しました。「Wow, so good!」一人にやさしく、もっと便利に、安全に — "よい品"で、"笑顔と感動"を世の中へ!!」を展示コンセプトとして環境・安全・快適をキーワードにシートアジャスタ・ランプ・電子製品の展示を行いました。展示品を体験していただき、多くの方に「驚き」を感じてもらい、「笑顔」と「感動」をお届けできました。

連結財務諸表

第2四半期貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (2019年3月31日)	当第2四半期末 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産	53,811	52,418
固定資産	30,340	29,652
資産合計	84,151	82,071
負債の部		
流動負債	27,576	26,470
固定負債	5,898	4,568
負債合計	33,475	31,039
純資産の部		
株主資本	47,382	47,951
その他の包括利益累計額	2,964	2,794
非支配株主持分	329	286
純資産合計	50,676	51,032
負債純資産合計	84,151	82,071

第2四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

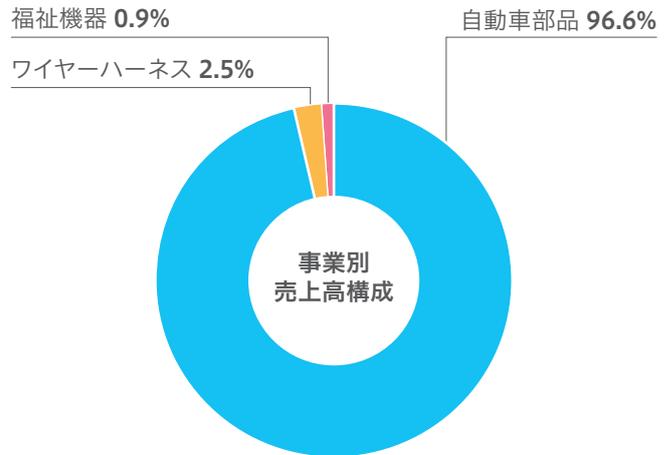
科目	前第2四半期 (2018年4月1日～ 2018年9月30日)	当第2四半期 (2019年4月1日～ 2019年9月30日)
売上高	59,744	56,387
売上原価	53,360	50,880
売上総利益	6,383	5,507
販売費及び一般管理費	4,682	4,119
営業利益	1,701	1,388
営業外収益	314	318
営業外費用	314	317
経常利益	1,701	1,390
特別利益	0	0
特別損失	7	83
税金等調整前四半期純利益	1,694	1,307
法人税、住民税及び事業税	574	482
法人税等調整額	△43	△27
四半期純利益	1,163	851
非支配株主に帰属する四半期純利益	41	35
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,122	815

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (2018年4月1日～ 2018年9月30日)	当第2四半期 (2019年4月1日～ 2019年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	4,066	3,411
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,372	△798
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,898	△2,075
現金及び現金同等物に係る 換算差額	72	89
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	866	627
現金及び現金同等物の 期首残高	10,912	11,337
現金及び現金同等物の 四半期末残高	11,779	11,964

事業別売上高構成



自動車部品関連事業

売上高 54,486百万円

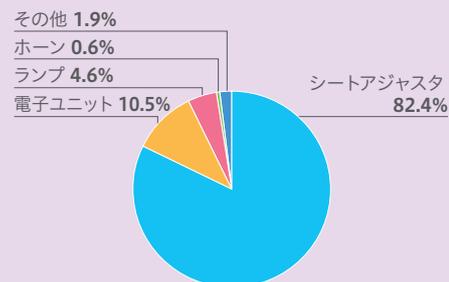
前年同期比 5.9%減

営業利益 1,401百万円

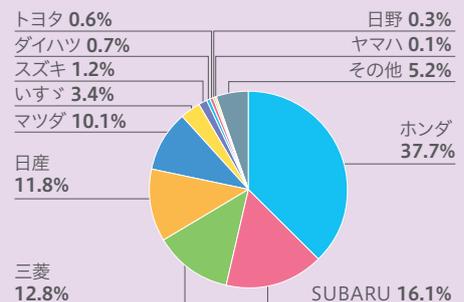
前年同期比 19.7%減

北米、中国での生産減少などにより、減収減益となりました

製品別売上高構成



販売先系列別売上高構成



会社概要 (2019年9月30日現在)

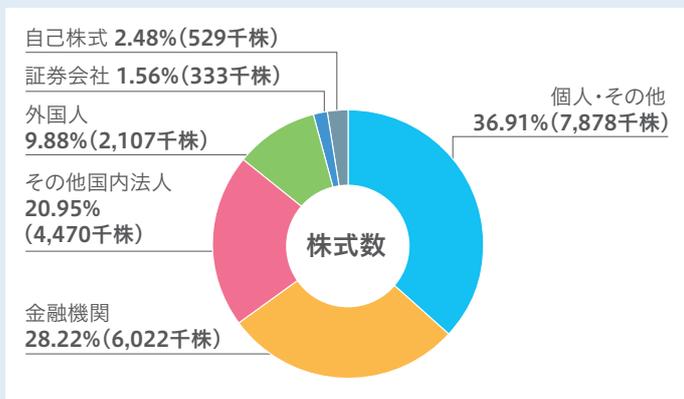
社名	株式会社 今仙電機製作所 Imasen Electric Industrial Co.,Ltd.
設立	1939年2月1日
資本金	6,297百万円
主な事業内容	自動車用機構製品及び電装製品の製造・販売
従業員数	4,645名(連結)
本社所在地	愛知県犬山市字柿畑1番地
営業所及び開発拠点	本社テクニカルセンター/IMASENグローバル開発・研修センター/ 東京支店/栃木テクニカルセンター/広島テクニカルセンター/ ドイツ支店
工場	名古屋工場/岐阜工場/八百津工場/ 春里工場/可児工場/岡山工場/広島工場/ (株式会社九州イマセン)
海外拠点	台湾/フィリピン/米国/中国/タイ/インド/ メキシコ/インドネシア

株式情報 (2019年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	49,195,000株
発行済株式の総数	21,341,152株
株主数	6,450名

所有者別分布状況



配当金の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当:毎年3月31日 中間配当:毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

役員 (2019年9月30日現在)

取締役 会長	足立 隆
代表取締役社長 執行役員	櫻井 孝 充
取締役 常務執行役員	佐竹 克 幸
取締役 常務執行役員	丹羽 良 仁
取締役 執行役員	木村 学 二
取締役 執行役員	藤田 善 久
取締役 執行役員	山野 上 耕 一
社外取締役	永井 康 雄
社外取締役	鈴木 雄 二
常勤監査役	真下 英 敏
監査役	阿部 隆 行
社外監査役	宮澤 俊 夫
社外監査役	長谷川 周 義

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
本田技研工業株式会社	1,066	5.12
IMASEN取引先持株会	984	4.73
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	975	4.68
日本トラスティー・サービス信託銀行株式会社(信託口)	714	3.43
テイ・エステック株式会社	638	3.06
今仙電機従業員持株会	632	3.03
ヤマハ発動機株式会社	613	2.94
株式会社三菱UFJ銀行	605	2.90
株式会社第三銀行	505	2.42
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	465	2.23

(注) 1. 当社は、自己株式529千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式(529千株)を控除して計算しております。

当社ホームページのご案内



様々な情報を
ホームページで
ご覧になれます。
www.imasen.co.jp

同事務取扱場所	愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031(フリーダイヤル)
郵便物送付先 電話照会先	
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	100株
証券コード	7266(東京・名古屋証券取引所市場第一部)